

電話リレーサービス支援業務諮問委員会（第2回）議事概要

1. 開催日 令和4年2月1日（火）WEB会議
2. 場所 一般社団法人電気通信事業者協会
3. 出席者 【委員】（五十音順、敬称略）
大塚 晃、小澤 正憲、菊池 馨実、岸田 隆司、鴻池 庸一郎、小浦 道子、
篠原 伸生、砂田 薫、関口 博正、山崎 拓、山本 健一

欠席者 松井 敏彦、

【一般社団法人電気通信事業者協会】

山本 一晴（専務理事）、有木 節二（支援業務室長）

4. 議題

【審議事項】

（1）令和4年度の番号単価の算定について

- ・資料1-1：電話リレーサービス制度における交付金の算定に関する基本方針
- ・資料1-2：令和4年度における電話リレーサービス提供業務に要する費用の額の予想額及び電話リレーサービス提供業務により生ずる収益の額の予想額等の届出書（様式第二）
- ・資料1-3：令和4年度収支予算（案）
- ・資料1-3-2：公認会計士確認書
- ・資料1-4：令和4年度収支予算説明資料（日本財団電話リレーサービス）
- ・資料1-5：令和3年度（当初・変更）予算・決算見込み・令和4年度収支予算整理表
- ・資料1-6：令和3年度変更収支予算及び変更認可の内容
- ・資料1-7：電話リレー提供業務に係る予想額確認審査表（令和4年度）
- ・資料1-8：電話リレーサービス令和4年度交付金の額の算定
- ・資料1-9：電話リレーサービス令和4年度番号単価算定

（2）令和4年度交付金の額及び交付方法、負担金の額及び徴収方法並びに総務大臣への認可申請等について

- ・資料2-1：令和4年度交付金の額及び交付方法 認可申請書（案）
- ・資料2-2：令和4年度負担金の額及び徴収方法 認可申請書（案）
- ・資料2-参考1：電話リレーサービス提供機関に対する交付金の額の計算式説明
- ・資料2-参考2：特定電話提供事業者ごとの負担金合計額の計算式説明

（3）その他

5. 議事概要

事務局 (開会宣言)

(専務理事挨拶)

(諮問委員12名中11名出席で定足数を満たしており、本会議は成立している旨を報告)

(資料の確認)

委員長 これより審議に入ります。諮問事項が2件ございます。まず、審議事項(1)「令和4年度の番号単価の算定について」審議いただきます。

(事務局説明)

委員長 只今の説明に、ご質問、ご意見はございませんでしょうか。

ご質問、ご意見無いようですので審議事項(1)「令和4年度の番号単価の算定について」につきましてはご了承をいただいたものといたします。

次に審議事項(2)「令和4年度交付金の額及び交付方法、負担金の額及び徴収方法並びに総務大臣への認可申請について」審議いただきます。

(事務局説明)

委員長 ただいまの説明について、ご質問、ご意見はございませんでしょうか。

委員 今年度の実績と、来年度に向けての予算を説明ありがとうございます。来年度の利用料の徴収の見込みにおいて、例えば病院やレストラン予約、緊急通報、修繕業者への依頼等の今年度の実績・実態としてはどのような内容で利用され、今後のトレンドとしてどのような内容が増えていくのか等を想定しながら予算を設定していく、その基礎となる資料は有った方が良いのではないかと思います。これからの電話リレーサービスの将来、そして適正な執行という観点から必要ではないかと思います。

委員長 ありがとうございます。

審議資料の提供機関の予算説明に利用料金等の見込みが記載されておりますが、事務局より補足があればお願いします。

事務局 利用先の実績や実態などに関する内容について資料には記載はありませんが、当支援機関への予想額の積算根拠資料では令和3年7-9月の利用の実績を基として、1回あたり5.4分、利用件数は一人当たり4.3件、利用者1人当たりの利用時間数は23.1分との利用実績を根拠として利用者見込み数が計画されています。委員ご指摘の点は今後の相談事項になりますが、提供業務の実施状況は総務省へ

の報告義務があり今年度の実績をベースに次年度の計画が立てられています。実績が積みあがってきた段階では利用先の実績や内容についても総務省と情報共有し可能な範囲で参考としてご提示できればと考えます。

委員 ありがとうございます。電話リレーサービスが今後健全な方向で発展していくためには、そのようなデータが必要と思いますし、聴覚障害者の方々には生命や安全にかかわる事であることを認識して予算執行することが望ましいと思います。

委員長 その他ございませんか。

審議事項が終了しましたので、諮問事項に対する答申書(案)をお諮りします。

答申案についてご意見、ご質問等ございませんか。

それではこの内容でTCA会長へ答申することといたします。

本日予定された議事は以上でございます。

事務局へお返しいたします。

事務局 本日はお忙しい中、第2回支援業務諮問委員会にご出席いただきありがとうございます。

引き続きよろしくお願い申し上げます。